

社会民主主義
フォーラム

全国
通信

No. 58

2024年
3月6日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

社会民主主義フォーラム第4回総会開く あらためて党組織と日常活動の強化を決意

第4回総会は2月23日、75人の参加（オンライン含む）で開催され今年度の活動計画や役員体制など決定しました。代表には引き続き吉田忠智・元参院議員と羽田圭二・世田谷区議会議員が就任しました。各県の報告からはこの3年間の地道な努力の中、党組織に少しずつ変化が生まれていることが確認できました。汚れた政治を変えるためより一層私たちの奮闘が求められています（文責は編集者にあります）。



いる。「できない」ではなくしっかりやっていく。

■■ 島根 奥迫 敏

3カ月に1回幹事会を開いている。3月3日に立憲県連の総会、24日に2区総支部の総会を予定。これまで議員が中心だったが、今回いずれも代議員制となった。県直属の支部も4つ結成。議員だけでなく党員の活動をとという議論や取り組みの成果が代議員制などに結びついた。米軍騒音問題、バス路線廃止問題など県連に押し上げていくことが課題。

■■ 富山 村石 篤

総会では防衛費、子育てめぐる増税や危険な流れに総選挙でしっかり訴えようと意思統一。労組からは「フォーラムの運動と労組の運動との違いなど整理を」と意見。そのため幹事会ではフォーラムの任務と役割を会員と一緒に討論してきた。月一回通信を発行し支部や労組との関係を深めてきた。労組の幹部にはフォーラムの幹事になってもらっている。

■■ 宮城 岸田清実

県議選、仙台市議選では世代交代も実現でき、メンバーも全員当選した。労働組合を重視し年一回政策交流会を行い、今年は2月4日に102人が参加した。「第2県連」として活動してきたが5月をめどに統合を行う。統合に向け大会構成員や定足数などの課題、「みなし支部」の在り方など議論していく。多くのギャップがあるが引き続き努力していく。

■■ 千葉 兼古博行

フォーラムはカンパニア運動の受け皿、全国との交流、議員の交流の場と位置づけ。議員は7人でうち2人は合流後に加入。各総支部で党との関りは異なるが一定の信頼関係はできてきた。平和運動に立憲議員が参加するようになったし、護憲の意見広告への協力、メーデー激励行動への参加も定着。共闘運動を媒体に労組、市民、党をつなぐ努力を強める。

■■ 香川 高田良徳

合流当初は難しかったがここに来て変わってきた。暫定総支部への支援や非議員も常幹に入れるようになってきた。国民運動への関りにも変化。重要土地規制法（善通寺）や高松港の軍港化反対など立憲も含めて反対のビラを作成した。3区では候補者いないが総支部を作りウラ金問題で座り込みを予定して



吉田忠智代表 参院大分選挙区公認候補に内定

2月27日、立憲民主党常任幹事会は、来年夏の参議院選挙・大分選挙区公認候補者として吉田忠智元参院議員を内定しました。吉田代表は翌28日、推薦が決定された連合大分の会合で「野党の議席を奪還して政治を変えていく」と力強く決意を述べました。次期総選挙そして参院選挙に向け全力で取り組みましょう。



■■ 静岡 橋本勝六

党県連にフォーラムとの意見交換の場を要請しているが実現していない。平和運動は「平和国民運動センター」と一緒に取り組んでいる。県会議員は2人いるが、脱原発を前面に出すと連合からは推薦を得られない。その中で当選だった。もう1人も脱原発で共産党に書きを送ったところ推薦取り消しに。意見交換の場の要求など地道に続けていきたい。

■■ 茨城 飯田正美

フォーラムの7割が立憲の党员。現在7つの総支部に所属している。どんな候補者も差別しないで応援してきた。自治体選挙では昨年暮れの下妻市議選含め連戦連勝。当初「左翼が入ってきた」と言われたが、宣伝カー回せない、ポスター貼れないという中で評価は高まっている。結成した労組立憲フォーラムを中心に、大衆運動でも存在感の発揮を目指す。

■■ 秋田 伊藤宏美

当初は「組織はどこに」「役員はいるの」という状況だったが、昨年大きく変わってきた。1区では女性県議が誕生し総支部の幹事長に就任。役員も議員だけだったが今は8人中5人がフォーラムのメンバー。タウンミーティングなども党として呼びかけてきた。元からいる立憲議員や新しい労組含めて昨年11月に未来ネットワーク秋田を立ち上げた。

■■ 東京 市川正人

連合や共産党との関係など各選挙区で対応がまだらになっている。様々な議論があっても野党共闘抜きに与党には勝てない状況。共産はまだ降ろしていないが、30の小選挙区中20は立憲が擁立し、他は共産とれいわという流れになっている。尾中さんの著書の「党の所属議員の多様性を重視し、他方で目指す社会像の鮮明にする」という視点は大切だ。

■■ 群馬 角倉邦良

汚染水処理問題で署名に取り組み、高田さんから呼びかけられ先々月フォーラムに入会した。県議もやり総選挙にも出たし後継も作ったので引退と思っていたが市議も面白い。フェミブリッジ運動から総選挙候補の擁立を目指したい。4区の福田議員にもウ

ラ金がおわっており、議員90人全員を告発する運動の組織化を考えている。それが立憲の役割だ。

■■ 青森 齋藤憲雄

暫定総支部の財政措置は少し良くなったが「任意の支部」が問題。ここをどうしていくか。六ヶ所でも立憲の足並みがそろわず「フォーラムとは考え方が違う」とのささやきも。改善しようと各議会前に学習会を行いフォーラム以外の立憲議員や労組にも参加してもらい、課題を共有していく。フォーラムでは去年から枝野さんなど講師に学習会をやってきた。

■■ 秋田 石田 寛

ようやく暫定総支部には財政支援を行うこととなったが、100人以上の党员登録が条件になっている。100人という数字は厳しく、50人以上にならないかと各県から意見を上げて欲しい。2区は16市町村あるがフォーラムとして選対を作る。先日、岩手総会に参加した。通信が78号出ている。将来的には東北ブロックで交流できるようにしたい。

■■ 群馬 角倉邦良

党本部に意見を上げていく時に、党内には自治体議員ネットワーク（代表＝遊佐美由紀宮城県議）があり、ここに要請してやっていくことも大切ではないか。選挙をたたかうには組織が必要だと党内でも多くの議員が分かっている。

■■ 埼玉 川村訓史

16選挙区のうち4選挙区に党员がいる。選挙闘争などに関わる中で親しくなり、原発絵画展の取り組みなどへの協力も広がってきている。労組とのつながりを大切に、全農林、私鉄、教組、自治労などコロナ禍でできなかった春闘交流会を開催した。自治労県本部委員長に講師をお願いし70人が参加した。熊谷立憲県連代表（参議院議員）も激励に。

自治体議員団第2回総会及び 夏季研修会のご案内

●日程：8月18日（日）13時30分～
8月19日（月）～12時

●会場：宮城県・秋保温泉 緑水亭

●内容：記念講演、交流会
フィールドワークなど

自治体議員の皆さんの参加をお待ちしています